

## 経営トップ向けセミナー

## 競争力強化のための業務革新セミナー

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、かねてより企業経営における業務革新（ビジネスシステム・イノベーション）の重要性を指摘し、広く経営者の方々に提案させて頂いて参りました。今回は、その一環として「競争力強化のための業務革新」に関する経営トップ向けセミナーを企画致しました。

さて、昨今の景気は良好な状況が続いておりますが、企業間の競争はますます激化しており、今まさに、世界最高水準の競争力を装備することが喫緊の課題であります。

競争力強化をはかるためには、競争戦略が優れていること、その競争戦略を遂行するための業務（ビジネスシステム）が適切に構築、運用されていること、その業務（ビジネスシステム）の遂行を支援するIT（情報技術）が有効に活用されていることが必要です。

しかし、競争戦略の策定・見直しが頻繁に行われ、多大なIT投資も行われていますが、必ずしも良い結果が得られておりません。この主たる原因は、競争戦略を遂行するための業務（ビジネスシステム）が適切に構築、運用されていないことにあります。戦略・業務・ITの3者がトータルの経営システムとしてフィットしていることが成功のカギであり、持続的な競争力強化の決め手になります。

さらに、近時の商法改正等によるコンプライアンスの強化、適切な内部統制の整備は、企業経営における最適な業務（ビジネスシステム）構築の重要性を再認識させるものであり、いかなる企業もその構築、運用が要求されています。内部統制の整備は、まず財務報告の信頼性を担保する観点から実施される必要がありますが、企業の健全な成長のためには、業務（ビジネスシステム）の有効性と効率性をあわせて追求することが懸命です。

本セミナーは、以上の問題認識にたち、競争力強化のための業務革新について、優れた競争戦略の策定、その戦略を実現する業務革新（ビジネスシステムイノベーション）の進め方、ITの有効活用について、事例をふまえて、提案させていただきます。

なお、本セミナーは経営トップ向けに企画致しました。経営トップ及び経営幹部自らのご参加をお待ち致しております。

敬具

### セミナー実施要領

1. 日 時 平成18年7月6日（木） 13:30～17:00
2. 会 場 東京都千代田区一番町16番  
株式会社 日本総合研究所 1階セミナールーム  
TEL. 03-3288-4382
3. 主 催 株式会社日本総合研究所 研究事業本部
4. 講 師 裏面参照
5. 対象者 社長、経営企画部門長、情報システム部門長他経営幹部の方々
6. 受講料 10,000円（資料代込み）
7. 定 員 50名
8. お申し込み、お問い合わせは裏面の参加申込書をご参照下さい。

# セミナー実施内容

## [ セミナー講師 ]

1. 兼為 勇次郎 弊社主席研究員 業務革新クラスター長  
経営改革指導を中心にコンサルティングを実施中。専門はビジネスシステム戦略、業務改革およびシステム改革である。
2. 谷口 勝則 弊社主任研究員 公認会計士  
経営管理制度設計や会計制度業務改革を専門とし、当該制度・業務改革とシステム改革との融合を図り、改革を実現するコンサルティングに従事している。
3. 太田 康尚 弊社主任研究員  
競争力強化をテーマに、業務および情報システムにおける改革を支援するコンサルティングに従事している。特に、マーケティング全般や販売業務革新を得意とする。
4. 矢澤 真徳 弊社研究員  
コーポレート・ガバナンスや競争戦略策定といった経営層が取り組むべき課題の解決を支援するコンサルティングに従事。また、その戦略の業務化という観点からの業務改革コンサルティングを実施。
5. 叶内 朋則 弊社研究員  
情報の活用・流通を視点とした経営改革、業務改革を専門としている。経営改革から業務改革、情報戦略・システム化構想策定まで幅広く従事している。

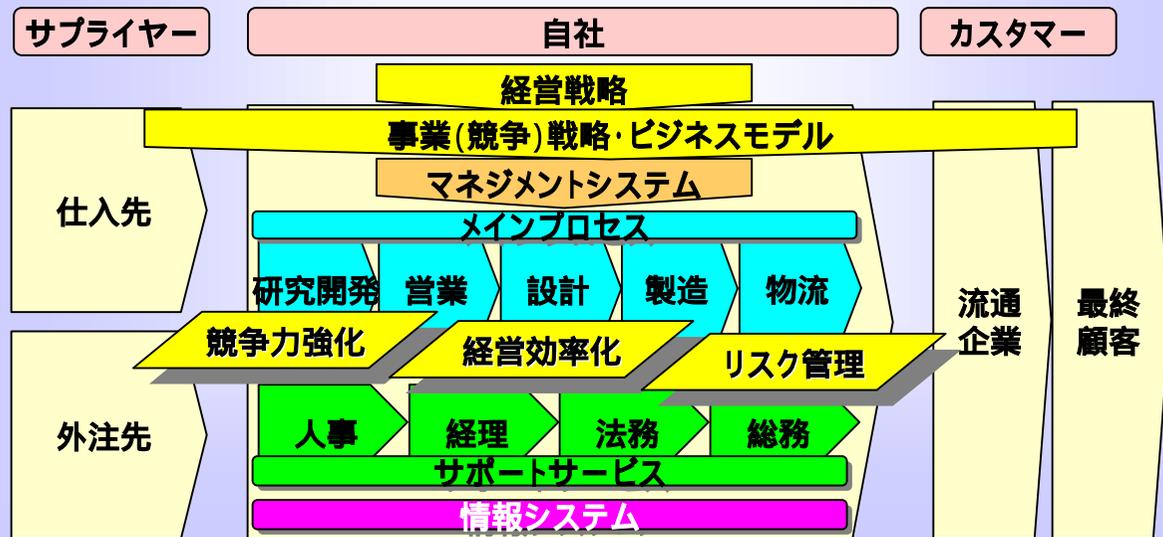
## [ セミナーの主な内容 ]

1. 競争力強化のための業務革新(ビジネスシステム・イノベーション)担当:兼為(13:30 - 14:10)
  - ・競争力強化は新たなステージへ
  - ・事業はもっと競争力を強化できる
  - ・競争力強化のための業務革新をいかに行うか
2. 競争力強化のための業務革新事例紹介(ケーススタディ)担当:太田 (14:10 - 14:50)
  - ・競争力のある企業の分析(競争優位のポイントと活動のポイント)
  - ・競争力強化へむけて、そのポイントと取組の事例
3. 競争優位の発見と競争戦略への展開 担当:矢澤 (14:50-15:30)
  - ・ライバルに模倣されない「改善」とは
  - ・競争優位をもたらす競争戦略が満たすべき条件
  - ・競争戦略はどのように自社の業務に反映されるべきか(成功事例とともにご紹介します)
4. 業務革新(ビジネスシステムイノベーション) 担当:谷口 (15:40-16:20)
  - ・戦略を実現するための業務革新手法(ビジネスシステムイノベーション手法)の概要
  - ・戦略を業務化し、着実に実行するための基幹業務プロセス革新(ビジネスプロセスイノベーション)
  - ・戦略の実行を適切に計画及びモニタリングするためのマネジメントシステム革新(マネジメントシステムイノベーション)
5. IT経営 担当:叶内 (16:20 - 17:00)
  - ・業務革新を実現する情報システム革新(インフォメーションシステムイノベーション)
  - ・IT経営とは何か
  - ・事例に見るIT経営の実際

## BSI(Business System Innovation)手法

弊社では、営業活動から契約、サービス提供までの一連のメインプロセスと、人事、経理、法務といった支援サービスを「顧客に価値を提供する仕組み=ビジネスシステム」と捉えています。

BSI(Business System Innovation)手法は、他社と差異化し、競争優位を築くためにビジネスシステムの最適化、つまり競争力強化、経営効率化、リスクマネジメントを実現する手法です。



## BSI手法のサブツール構成

BSI手法は、以下の5つのサブツールから構成される。

BMI (Business Model Innovation)	他社と差異化し競争優位を導くためのビジネスモデルの改革。 顧客と自社、仕入先と自社との関係を再設計する。
MSI (Management Systems Innovation)	ビジネスモデル(事業戦略)に基づき、ビジネス・業務を適切に管理するためのマネジメントシステムの改革。
BPI (Business Process Innovation)	ビジネスモデルを実現するために、戦略を業務化するビジネスの基幹業務プロセスの改革。
SSI (Support Service Innovation)	ビジネスの基幹業務プロセスを効率的、効果的に支援するためのサポートサービスの改革。
ISI (Information Systems Innovation)	ビジネスモデル・マネジメントシステム・ビジネスプロセス・サポートサービスの改革を実現するための情報システムの改革。

## お申し込みにあたって

参加申込書をFAXでお申込み下さい。後日、受講票(会場地図付)・請求書を郵送致します。なお、受講票・請求書は、お申込書記載住所に参加代表者様宛に郵送させていただきます。開催日間近のお申込みの場合、受講票のみ先にファクスでお送りし、請求書は別途郵送致します。

受講料金はセミナー開催当日までにお振込みください。お振込手数料は、貴社にてご負担ください。なお、現金でのお取扱いは致しておりません。領収書は原則として発行しておりません。

参加登録キャンセルは、開催3日前(受講料金のお振込前に限り)までお受けします。受講料金のお振込後の払戻しはお受けできませんのでご了承ください。お申込者のご都合がつかない場合は、代理の方にご出席いただくか、資料郵送に代えさせていただきます。

セミナー会場においては、ビデオ・カセットテープなどによる撮影・録音は固くお断りします。

### 受講料(含資料代・消費税)

一名様につき  
10,000円  
(税込)

### 申込照会先

日本総合研究所 研究事業本部  
TEL:03-3288-4382  
内容照会：兼為,谷口,太田  
申込照会：谷内

### 受講料お振込先

三井住友銀行 青山支店 普通預金No.557391  
株式会社 日本総合研究所  
加二ホンソウゴウケンキョウシヨ